

香川県ソーシャルワーカー協会 創設30周年“かがわビジョン”について

香川県ソーシャルワーカー協会は、2018年、創設30周年を迎えました。この30年を振り返ると、郷土香川の社会福祉従事者が、分野を超えて集い、語り、学びあい、視野を広げ、エネルギーを蓄える場をつくりながら、活動を進めてまいりました。

この30年で社会情勢は大きく変化し、社会福祉の課題も複雑・多様化し、それに合わせて新しい法律や制度、施策が生まれました。社会福祉従事者は、自らの専門性を磨き、細分化された制度によって実践を支えてきました。

それは同時に、これらさまざまな変化や深刻な人材不足などによって、社会福祉従事者の業務の煩雑化を招き、そのため自らが社会福祉の諸課題を俯瞰的に捉え、積極的に改革しようとする力をも弱めてきたと言えるのかもしれませんが。

しかしながら、今だからこそソーシャルワーク機能が求められていることを私たちは強く認識したところであり、この度、香川県ソーシャルワーカー協会では、創設30周年を機に、今後の活動の目標とする将来ビジョンを描くこととし、そのビジョンを“かがわビジョン”と名付けることとしました。

この“かがわビジョン”は、分野・領域を超えて社会を幅広い視点で捉え、ソーシャルワークの価値、重要性、果たすべき役割を再認識し、実践を通じてそれらを社会にアピールしていくことを基本に据えています。ソーシャルワーク機能を果たすべき私たちが目指すものとして、“かがわビジョン”をお示しします。

かがわビジョン

私たちがソーシャルワーク機能を担ううえで価値があるものとして捉える社会は、「誰もが等しく生命が維持され、生活が保障され、差別やさまざまな社会的障壁が除去され、個性が尊重され、存在価値をもって参加できる社会」です。

そのために私たちが果たすべき役割とは、「人びとを支え、エンパワーし、制度やサービス、モノ、人の意識や連帯、個々人や組織のネットワークをつくり又はつくり変えていくこと」であると考えます。

これらのことを踏まえ、私たち香川県ソーシャルワーカー協会は、次のことを自らの実践を通じて具現化していきます。

○ソーシャルワークに関わる人たちが集い、語らい、学び合い、視野を広げ、エネルギーを蓄える場を引き続きつくります。

分野や領域、資格の有無などには関係なく、広くソーシャルワーク機能を発揮している、あるいは発揮しようとしている人たちの交流、研修、勉強会の場をつくっていきます。

○ソーシャルワークに関わる人たちが、ソーシャルワークの源流にある価値を振り返ることができる機会をもちます。

交流、研修、勉強の場において、分野や領域にオープンな特性を生かして、分野や領域などを越えたソーシャルワーク機能でつながる源流にある価値を振り返り、再認識できるようにしていきます。

○ソーシャルワークに関わる人たち同士がつながり、また住民とつながることのできる人材を育てます。

ソーシャルワークに関わる人たち同士がつながり、またソーシャルワークに関わる人たちが地域を動かす原動力である住民とつながることができる人材を育てます。

○ソーシャルワークの関係団体や会員が所属する機関、団体等との連携を強化します。

分野や領域、資格の有無にとらわれずソーシャルワーク機能を担う関係団体との連携・交流を深め、また、香川県ソーシャルワーカー協会の会員とその所属機関との関わりも深めます。

○社会にとって必要な意見や主張を、さまざまな機会を通じて発信していきます。

実践に基づいた議論を通じて得た意見や主張については、それが社会にとって必要と判断する場合に、さまざまな機会や媒体を通じて、広く発信していきます。

平成30年2月17日

香川県ソーシャルワーカー協会